

事業シート

事業名		資源再利用奨励事業				事業開始年度		1983				
上位施策事業名						担当局・部名		環境経済部				
根拠法令等		入間市資源再利用奨励補助金交付要綱				担当課・担当名		総合クリーンセンター・清掃指導・ごみ減量推進課				
事務区分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				作成責任者		石井 治彦				
実施の背景		市民の日常生活から排出される多くの廃棄物の多くが、焼却または破碎処分されている。廃棄物の中には、再利用、再資源化できるものも多くある。										
目 的 (何のために)		「ごみ」という考え方から「資源」としての意識啓発を行い、ごみ（廃棄物）量を減少させるとともに、循環型社会の形成を目指す。 市民の日常生活から排出される廃棄物の中で、再利用できる紙類や缶、古布などの有価物を集団回収することで、焼却や破碎ごみの減量化につながり、良好な生活環境の維持する。										
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	市内に住所を有する者で組織し、かつ、営利を目的としない団体						対象者数（全住民に対する割合） 全 人 100 %)				
	実施方法	☐ 直接実施										
		☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 (委託先又は指定管理者：)										
		☒ 補助金 〔直接・間接〕 (補助先：非営利団体 実施主体：)										
	☐ 貸付 (貸付先：) ☐ その他 ()											
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 自治会や市民団体など、入間市内に住所を有する者で組織し、かつ、営利を目的としない団体が家庭を対象に集団回収した資源物(繊維、紙類、空ビン、金属類、紙パック)に対して1kg辺り4円の補助金を交付する。(ビンのみ1本4円) 登録団体数：179団体 事業費 繊維：4円*46,750kg 紙類：4円*1,350,000kg 空ビン：4円*750本 金属類：4円*40,000kg 紙パック：4円*12,500kg											
	関連事業 (同一目的事業等)											
コスト			2024 年度（予算）		2023 年度(決算)		2022 年度(決算)		2021 年度(決算)			
	事業費合計		5,800 千円		5,133 千円		5,598 千円		5,769 千円			
	事業費内訳 (2023年度分)		・ 資源再利用奨励補助金 繊維：4円*46,750kg 紙類：4円*1,350,000kg 空ビン：4円*750本 金属類：4円*40,000kg 紙パック：4円*12,500kg									
	人件費	担当正職員	0.3 人	2,370 千円	0.3 人	2,370 千円	0.3 人	2,370 千円	0.3 人	2,370 千円		
		臨時職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円		
		人件費合計	人	2,370 千円	人	2,370 千円	人	2,370 千円	人	2,370 千円		
	総事業費		8,170 千円		7,503 千円		7,968 千円		8,139 千円			
財源 内訳	国県支出金		5,800 千円		5,133 千円		0 千円		5,769 千円			
	国県支出金の内容		埼玉県市町村振興協会市町村交付金(宝くじ)									
	地方債		千円		千円		千円		千円			
	その他特財		千円		千円		千円		千円			
	その他特財の内容											
	一般財源		2,370 千円		2,370 千円		7,968 千円		2,370 千円			
財源合計		8,170 千円		7,503 千円		7,968 千円		8,139 千円				

事業シート

事業名		資源再利用奨励事業			事業開始年度		1983	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		補助金交付額		円	5,597,970	5,768,934	6,332,718	
		集団回収資源化量(補助金交付分)		t	1,283	1,399	1,442	
		資源化量		t	9,477	9,829	10,209	
	単位当たりコスト	4 円	/	kgあたり（ビンのみ本あたり）				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	資源再利用の促進、焼却や破碎ごみの減量を目的としているため、ごみの資源化率を指標とした。目標値は令和3年3月策定の「入間市一般廃棄物基本計画」で定められた令和17年度までの目標値とした。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		資源化率		%	23.1/27.4	22.7/27.4	22.9/27.4	
					/	/	/	
					/	/	/	
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域		要改善		☒ 現行通り・拡充
評価の内容		この事業で資源化されている有価物は約1万トンであり、入間市のごみの資源化に大きく貢献している。また、集団回収を通じ売払い代金は各団体の活動費の原資になっていることも多く、再資源化に対する市民意識の向上に寄与している。						
課題	2023年度	社会環境の変化により、ごみ(廃棄物)に対する市民意識や考えも変化しており、時代に合った効果的な意識啓発の方法を検討する必要がある。特に、現状では紙類（資源量）が減少傾向にある。特にペーパーレス化等の影響による紙類（資源化量）の減少が大きい。 なお、補助金制度についても時代の変化に合わせて検討していく必要がある。						
	2024年度	同上						
今後の予定		他自治体の状況を参考に補助金の見直しを検討する。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		・所沢市：古紙の市況が基準価格を下回った場合、基準価格(1kg辺り5円)との差額を助成 R6：新聞0円、雑誌・雑がみ1円、段ボール0円 ・狭山市：紙類、布類、カレット、金属類1kg4円、生びん1本4円 ・飯能市：紙類、布類、金属類1kg5円、生き瓶(酒及びビールの瓶に限る)1本5円 ・日高市：古紙類・牛乳パック・繊維類1kg10円、金属類・ガラスびん類1kg7円						
特記事項								